

No. 1255

五つ子

元気に満二歳

東京練馬区の山下頼充さん紀子さん夫妻の五つ子ちゃんが1月31日そろって満2歳の誕生日を迎えました。この日山下家では子供部屋でささやかなパーティが開れました。生れてから2年、見違えるほどの成長した五つ子たちはクス玉の中から落ちてきた風せんやツルを追いかけて思い思いに楽しんでいました。母親紀子さんの手製のケーキが運ばれると五人はわれさきにケーキのまわりに大集合。2才になった五つ子たちはそれぞれの個性も豊かになりはじめけんかやオモチャの取り合いもしばしばだという。母親の紀子さんは「無事ここまで成長したことを感謝しています」と語っていました。

寒に稼ぐ村

— 岐阜・山岡 —

岐阜県・恵那郡山岡町は寒天の町として知られている。大正末期、米作農家の裏作として政府が奨励して以来、今日まで栄え、現在、全国で生産される寒天の40%を生産している。真冬の4時頃起床、6時頃からつき出しを始め、表に一週間ぐらい干す。今、この町に寒天生産にたづさわる人は300人程いるが、このうち80人が新潟県の安塚町からの出稼ぎである。新潟県・東頸城郡、安塚町は豪雪地帯、雪のシーズンはほとんどが出稼ぎに出る。ある人は「もう寒天の出稼ぎに20年以上きています。安塚町は出稼ぎしなければならない町だから、これからも頼みたい」今年1月26日、安塚町から町長さんをはじめ10人の代表が山岡町を訪れた。安塚町と山岡町の姉妹町としての盟約を結ぶためである。この日、両町の代表が見守る中、両町長さんの署名で調印を終えた。山岡町の町長さんは「出稼ぎに来ている人の奥さんを是非招待したい」。何か一段と強い信頼関係が生まれたような気がするという出稼ぎの人達。寒に稼ぐ村は今後も、しっかりと強いきずなで結ばれ大きく発展してゆくことだろう。